2026年3月11日

令和７年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
セントルシア医療器材供与計画に関する署名式

2026 年 3 月 10 日（火）、令和 7 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（GGP）「カストリーズ市緊急医療機材供与計画」の署名式が、同市内オウェン・キング・ヨーロピアン・ユニオン病院にて執り行われました。本供与は、セントルシア国内で増加する医療需要及び機材不足に対する緊急医療体制の強化を目的として、被供与団体であるミレニアム・ハイツ・メディカル・コンプレックスが日本政府からの無償資金を用いて医療用ベッド 12 台、自動体外式除細動器（AED）2 台、心電計（ECG）2 台を調達する計画です。

署名式には、梅澤彰馬日本国大使をはじめ、アーネスト・ノバル保健・健康・高齢者問題省副事務次官及び被供与団体のミレニアム・ハイツ・メディカル・コンプレックスからダミアン・E・グリーブス最高経営責任者（CEO）が出席しました。

梅澤大使は、島嶼国における災害・緊急時リスク管理の重要性、また、３月６日に同市内で発生した大規模火災での日本の消防車両の活躍に触れながら、半世紀以上にわたり続いてきた日本とセントルシアの協力関係について言及しました。また、セントルシア政府が保健医療分野の拡充を優先事項として位置付けていること、とりわけオウェン・キング・ヨーロピアン・ユニオン病院の拡張計画について言及し、本供与による追加機材が同病院の医療提供能力の強化に寄与することへ期待を示しました。同国保健医療分野への日本政府による継続的な支援を改めて表明するとともに、災害・緊急時リスク管理のためのレジリエンス強化に向け、両国のパートナーシップ継続に向け意欲を表しました。

被供与団体からは、ミレニアム・ハイツ・メディカル・コンプレックス最高経営責任者（CEO）のダミアン・E・グリーブス氏が、本供与に対する謝意を表明するとともに、本支援がボトムアップ型での緊急医療アクセス向上を目指す同病院の取組に貢献することへ期待を述べました。また、草の根レベルの協力がもたらす裨益効果について言及し、本支援が十分な医療サービスを受けることが困難な人々に直接的な恩恵をもたらすことを強調しました。最後に、セントルシア国民の保健医療、および人間の安全保障向上に向け、日本政府との協力関係が今後も継続していくことへ期待を表明しました。

日本政府は、両国間の友好と相互理解のさらなる深化のため、今後ともセントルシアにおける保健医療分野への支援を実施していく考えです。

梅澤大使によるスピーチ

被供与団体によるスピーチ

契約書への署名

署名後の記念撮影

病院関係者との記念撮影

For further information, please contact:
Economic Affairs and Development Cooperation Section
Embassy of Japan in Trinidad and Tobago
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 219/234
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp